



第 67 号

# 千 町 田

## これから3年間の目標

代表理事 河津 一行



今年も圃場では田植えが始まり本格的に稲づくりが始まりました。今年も飼料米まで含めて6月末まで田植えを行う予定です。

のきの郷が設立して11年が経ちますが初代組合長の仲井さんが営農組合を法人化し現在の基礎を立上げ、前組合長の山本さんがこの法人を大きく成長させて来ました。前任のお二人ほど偉大なことは出来ないと思いますが、私は私なりにこの地域と組合員の皆様に信頼していただける法人を目指して参ります。

さて、組合長一年生の私としての信念は「利益の追求」これだけです。このところの厳しい農業情勢の中、交付金を含めてとにかく財政再建を目標に掲げています。そして次の世代の新しい農業に備えて財源を確



保していくことも目標にしています。なかなか難しい状況ではありますが在任中のこの3年間でその基礎を固めていこうと考えています。具体的には経費の節減と赤字部門の縮小が鍵になると思います。またこれまでの経営を今一度見直し長期負債の整理を含め経営基盤の強化を図りたいと考えています。

一方将来を見据えて職員の育成体制の強化も引きつづき取り組んで参ります。現在5名在籍している生産現場の雇用を始めて6年がたちますがその職員たちもそれぞれの持ち場で責任をもつて作業ができるように成長してきており今は彼らが主体となり作業を進めていると感じています。来年からは作付計画から作業計画まで任せてみようと考えています。

それにより少しでも利益を上げて、出来ることなら組合員の皆様にも還元していきたいと思っております。これからもご理解ご協力の程よろしくお願いたします。



## ドローンによる直播デモ

5月31日水稻直播用コーティング種子「リソケア」を用いてドローンによる直播実演デモがありました。その直播田はWCS用稲として利用します。



デモ機のドローンは全長2m程度あり積載重量も20kgと大型なものでした。走行や播種量調整など自動制御で行うことが出来、1haの田んぼも見ると同時に播種が完了してしましました。



## 能義小田植え体験学習

5月31日に能義小学校の田植え体験学習が小学校脇の田んぼの一部を使って行われました。小雨が降るなか昨年同様田植えをした6年生と今年初めて体験

する5年生と一緒に泥の感触を楽しみながら田植えをしました。終わるころには雨もやみ、泥んこになりながら楽しく作業を終えました。



いらっしやいませ  
4月15日視察

石川 島根県農協組合長様

# アンケート報告

ご協力をお願いしておりましたアンケートの結果をご報告します。回答いただいた間についてグラフにて表しました。

回答数は前回令和3年とほぼ同じです。世代比率は前回と比較すると60代以上が微増、20代以下が微減となりました。世帯人数も2人以下が約3割とほぼ同じでした。その一方で60歳以上のみの世帯は微増となっています。

◎回答数 74件 49%

## 世帯割合

人数	割合
2人以下	31%
3人以上	69%

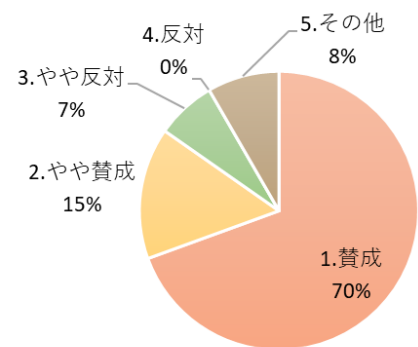
60歳以上のみ世帯	割合
	36%



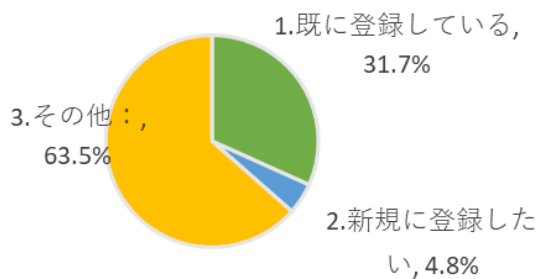
## 年代別割合

年代	割合
70代以上	33.7%
60代	14.4%
50代	10.7%
40代	8.9%
30代	9.3%
20代	6.5%
20代未満	16.5%

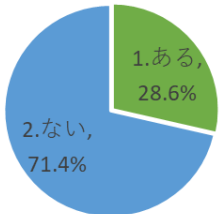
## 従業員雇用をどう思うか



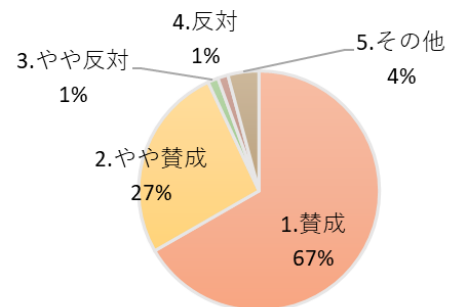
## 従事組合員に登録可能か



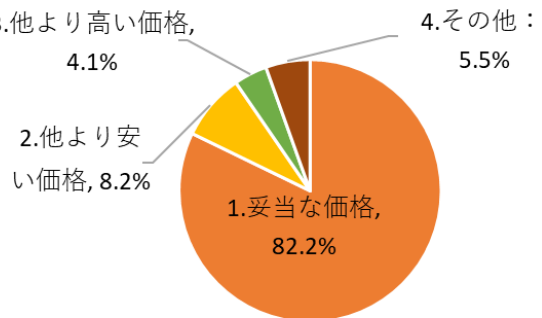
## ホームページなど見たことがあるか



## 交付金・補助金を重視した作付けをどう思うか



## 保有米縁故米の価格についてどう思うか



ったようです。また、機会が合えば登録したいという意思の方も多々ありました。

交付金補助金を重視した作付けについては大部分の方にご賛同いただきました。

飯米の価格についても大半の方にご満足いただいているようです。

ホームページやSNSについては見て下さる方に興味を持っていただけるような内容を発信できるように工夫していきたいと思えます。また偶数月に発行しているこの『千町田』も皆様に情報発信する手段として今後も発行していきたいと思えます。

ご意見を頂いた内容もご報告させていただきます。

◎問、従業員の雇用を今後も維持していきたいかと思うか

- ・賛成だが人数の多少はわからない。
- ・詳細がわからない。

- ・担当を明確にしてある程度責任を持たせ学習してプロになって欲しい。

◎問、従事組合員に登録して作業に参加することは可能か

- ・勤務しているので参加できない。
- ・高齢、持病があるため参加できない。
- ・休日都合えば参加したい。

・他の営農組合の実情を調べて対応してほしい。

・現在は無理だが今後登録したい。  
・運転する作業なら可能。

◎問、国からの交付金や補助金を重視した作付けをどう思うか

・当たり前ではないか。  
・交付金や補助金がいままで続くのが不明であり、自立した経営を目指す作付けを検討研究し実行していく必要があると思う。

・他営農だかのきの郷の1/4ほどの圃場面積であってもトラクターなど農機具を多数持ち米作を中心に作付けしているところがある。

◎問、飯米として提供している保有米縁故米の価格についてどう思うか

・法人に任せます。  
・保有米はもう少し安くてもよい。  
・米質が落ちているので値引を望む。

◎問、通常総会への出席者を増やすためにはどうすれば良いと思うか

・事前に出欠をとる  
・本人に任せるしかない。  
・出席特典を設ける。(奨励金、粗品)  
・不参加の理由を把握する。  
・収益を上げ魅力的な経営を行う。  
・コロナ明けなので仕方ない。これから徐々に増えていくのを待つ。



・決算数字に緊張感が見られないからだ。努力が必要。

・議事内容を充実させる。  
・準備された椅子の数が少ない。

・町内ごとの代議員制にする。  
・書面議決をなくす

・積極的な声掛け、発信。  
・普段からコミュニケーションをとるよう努力する。

・総会時に書記などの指名を専任化してほしい。

◎問、体験学習や研修会などについて意見要望を聞かせてください

・独松山登山道の整備。  
・出来るだけどじょうこTVで放送。  
・職場体験や農機具(トラクターなど)運転体験ドローン体験など。  
・他県、他地域の農業法人との人材交流相互研修(1年とかの長期間)。勉強会の実施。  
・高専、大学などと共同で研究商品開発を行う。

・農業(作物を生育する)のかわかり意義を知ってもらうこと。

・体験学習などは子供たちが大人になってもよい思い出として心に残ると思う。

・地域貢献は今まで通りで良い。  
◎問、きょうこな祭の中であった



らよいと思う出し物はなにか

・小中学生の発表。  
・かくし芸大会

・箱の中身は何でしょうゲーム  
・本数は少なくなるが福引の商品の単価をもう少し上げてみる。

・販売。抽選会  
・皆さんのふれあい親睦の場なので現状通りで良いのでは。

・なくてよい  
・ほとんどの人が抽選会を楽しみに来ていると思う。スケジュール表通りに進行してほしい。

◎問、ホームページやSNSでの発信内容などについてどう思うか

・内容が面白くない  
・情報発信を行っていることをもっとPRすべき  
・活動の様子や作物などPR出来る良いと思う。

◎問、のきの郷に期待すること、要望、意見など

・補助金が出る作物に特化した経営。  
・昔は泥場の田んぼで飯米を採ったが現在はそこで飼料用米を作付けしているのが理解できない。  
・作物除草は早めの対応をする。  
・作られている果物野菜わらなど収穫完了後その都度開放通知を出した



らどうか。

・稲作技術を研鑽し収益を上げる。赤字作目を経営改善し黒字化する。土づくりを行う。

・持続可能な農業への取り組み。  
・米袋30kgは運搬が大変なので15kgか20kgがあればよい

・食糧生産は人類永遠のテーマ。市の企業誘致と重なり、需要の高まりを感じます。

・機械作業はもちろんだが水管理が出来るように従業員の方に教育していただきたい。今後組合員で行うことが難しいではないでしょうか。

・個人の能力、知性、勉強することを望む。もっと個々のレベルアップを早急に確立する事

・良質作物を育て独自価格販売良き販路を探すこと。  
・身の丈に合った運営に期待します。

これ以上の拡大は希望しない。

たくさんのご意見ご要望をいただきありがとうございます。同意な意見は集約しています。また紙面の都合ですべての意見をお知らせできません。今回頂いたご意見は今後の経営の指針に活用してまいります。ご協力ありがとうございました。



## 田んぼの様子

初夏と言われる季節になりましたが、先日最後の播種作業が行われました。品種は飼料用米の「みほひかり」です。田植は6月下旬

の予定です。

小麦と菜種は刈取りの時期を迎えています。それぞれ適期に刈り取られます。

いちごは6月中旬まで収穫の予定です。もうしばらく甘い実を楽しめます。

ぶどうは小さな房をつけており秋の实りに向けて管理作業が続きます。収穫時期には贈答品など販売のお知らせを出しますのでその際はご注文をお願いいたします。



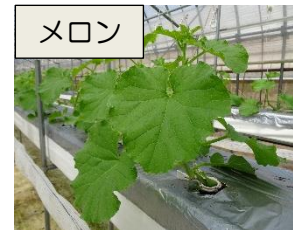
菜種



小麦



いちご



メロン

今年はいちごハウスを1棟利用してメロン栽培をしています。7月初旬ごろ収穫予定です。時期になりましたらご案内いたします。

また直播試験田でドローンのデモ機による播種を行いました。大型ドローンが自動で走行播種する様子は将来の農業を感じました。



ぶどう



のきの郷の田んぼに時折コウノトリがやってきています。よく見ると水の入った田んぼには珍しい鳥や昆虫がやってきているかもしれません。



コウノトリは渡り鳥ですが日本ではそのまま繁殖するものも多く江戸時代には日本各地で見られたようです。しかし昭和の時代には日本にいたコウノトリは絶滅し、その後ロシア

などから譲り受けたコウノトリの人工繁殖に成功し数を増やすことが出来ました。現在は人工飼育後の野生復帰のため放鳥を行っており繁殖も12府県で確認されました。島根県でも雲南市で営巣巣立ちが確認されており、先日田んぼで見かけたコウノトリたちは雲南生まれだったかもしれません。

### 軽トラ貸出

軽トラを所有する家庭が減りのきの郷所有の軽トラ借用のご要望があり次のような要領で貸出しを行うことになりましたのでご利用ください。

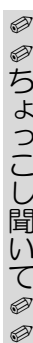
- 貸出料は30 km以内500円とする。
- 30 kmを超える場合は10 kmごとにプラス200円とする。
- 料金の中に燃料代を含む。
- 貸出しはのきの郷の業務に差支えない場合のみ行う。
- 使用時の明らかな車の損傷は使用者が補償する。
- 貸出しの前日までにのきの郷まで借用願を提出する。

詳細は、のきの郷事務所までお問い合わせください。

### きんづいてない祭り開催

今年もきてごしない祭りを開催します。皆様に楽しんでいただけるように計画いたしますのでご家族ご近所お誘いあわせの上ご参加ください。詳細は後日お知らせします。

- 開催日 7月14日(日) 17時30分より
- 会場 のきの郷敷地内



昔身近にいた生き物たちが絶滅危惧種になってしまったり昔はいなかったが今は身近な生き物になっていくことを考えるとそれが時代の流れとみるのか環境破壊とみるのか。ちよっぴの考えてしまってます。(わ)